

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1294 号	氏 名	中嶋 有美子
論 文 審 査 担 当 者		主査教授	大園 恵幸
		副査教授	下川 功
		副査教授	酒井 英樹
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、これまでほとんど報告がなかった小児腎疾患の正確な年齢別分布を病理組織学的に明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究では、光顕、蛍光抗体法、電顕すべての所見が揃った 15 歳以下の小児 547 例に対し、年齢別に 1 群(2～5 歳)、2 群(6～9 歳)、3 群(10～12 歳)、4 群(13～15 歳)に分けて、臨床病理学的検討を行い、小児腎疾患の分布や年齢層ごとの頻度について解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、小児例全体の検討では、IgA 腎症の割合が最も多く、さらに年齢別分布で、IgA 腎症が 1 群より認められ、2 群、3 群、4 群では最も高頻度であり、年齢の上昇とともに割合の程度も増加していることを明らかにし、今後の病理学的小児腎疾患研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は小児腎臓病学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			